



ボランティア紹介リレー

第15回

今回は、『新開コミュニティいぶき太鼓』からの紹介で、『一宮市地域精神障がい者家族会「びわの会」』をご紹介します。

一宮市地域精神障がい者家族会「びわの会」とは？

精神障害のある方の家族の「癒やし」・「学び」・「啓発活動」の場を目指して、平成22年に活動を始めました。「びわの会」という団体名の由来は果物のびわです。びわの花言葉には「治癒」・「温和」があり、漢方薬にもなるということで、目指す活動にピッタリだと思いました。

主な活動は？

活動の軸は、定例会・家族相談・イベントの3つです。

- 定例会……会員が集まって情報交換や勉強会をしています。
- 家族相談…当事者やその家族からの相談に応じています。(市からの委託事業)
(月・水曜日 午前10時～午後3時 思いやり会館4階 TEL73-0505)
- イベント…「びわの会」主催で「こころの健康セミナー」を毎年開催しており、今年度で8回目を迎えます。

【こころの健康セミナー】
 日時:12月2日(日)午後1時30分～
 会場:尾張一宮駅前ビル2階 会議室
 内容:精神障害に関する講演
 ※申込不要



活動のやりがい・魅力は？

相談にみえた方が、話をしていく中で少しずつ問題を解決して笑顔になっていく姿をみると、とても嬉しい気持ちになります。また、同じ悩みを抱える人からの相談にのることで、知識や情報を共有して、お互いに成長し、支え合えることがこの活動の魅力です。

市民の皆様へひとこと

精神障害は決して恥ずかしい病気ではありません。一人で悩まず、「びわの会」へ相談に来てください。そして、「びわの会」では当事者の家族の方と一緒に活動できる方を募集しています。参加したいという方は社会福祉協議会へご連絡ください。(TEL85-7024)

取材を終えて

会員のみなさんが、「悩みを抱えている当事者とその家族の方を支えたい」という思いを持って活動していることがとてもよく伝わってきました。会員自身の悩みや経験をもとに相談を受けている姿は、助け合い・支え合いの心を広める素敵な活動だと思います。

おすすめふくしの本

はっぴいさん 荒井良二／作・絵 偕成社



図書館で借りることができます。

困ったことや願い事を聞いてくれるという「はっぴいさん」に会うために、のろのろな男の子とあわてんぼの女の子は山の上の石を目指します。「はっぴいさん」は現れませんでした。それぞれの願い事を打ち明けて、二人は笑い合いました。「のろのろはなんでもいてないからだとおもうわ」「あわてるのは、なんでもいっしょうけんめいだからだとおもうよ」。

欠点も見方を変えれば長所になるということ、お互いを認め合うことの大切さに改めて気づかされます。心をほんわりとさせてくれる絵本です。